

展示品の 見どころ

きちじょうてん ぞう 吉祥天像

国宝 奈良・薬師寺
麻布着色
縦53.0 横31.7 (cm)
奈良時代(8世紀)

吉祥天は、古代インドの美と豊饒の神ラクシュミーが仏教に取り込まれ信仰されるようになった天女。その姿を描いた日本最古の作例である薬師寺吉祥天像は、ふくよかな顔立ち、微妙なグラデーションと透明感をもつ着衣の彩色など、豊麗な美しさを現在に伝える天平の名画としてほまれ高い。こうした見目麗しい姿は唐代美人画の影響を受けたものと考えられており、正倉院宝物の鳥毛立女図屏風とも共通する部分が多い。開いた胸元に淡墨の弧線を重ねて乳房のふくらみをあらわすのも両作品に共通する表現であり、豊満な女性像を強調しているのだろう。平安時代初めに編纂された『日本霊異記』には、吉祥天像に恋慕したという修行僧の話が記載されており、奈良時代の人々が薬師寺像を礼拝する際に懐いたであろう感情の一端がうかがえて興味深い。

さて、この天平美人を思わせる優美な画像が、吉祥悔過という密教的な法会の本尊として描かれたということは、意外に思われるかもしれない。悔過とは本尊となるほけに対して一年の罪過を懺悔し、新しい年の天下太平、五穀豊穰を祈願する法会

のこと。本尊に対して陀羅尼という呪文を唱え、護摩を焚き、鏡をはじめとする法具を用いるなど、密教的要素の強い儀式だった。弘法大師空海が平安時代初めに体系化された密教を伝える以前、奈良時代にはすでにこうした古密教の尊像、経典、儀礼などが伝わっており、薬師如来や十一面観音などを本尊とする悔過が盛んに行われていた。中でも吉祥天を本尊とする吉祥悔過は、『金光明最勝王経』の経説に基づき、正月に七日七夜にわたって宮中の大極殿や諸国の国分寺で行われた国家的規模の法会であった。

薬師寺においても宝亀2年(771)ないし同3年に吉祥悔過が始められたといい、本画像はその本尊として描かれた可能性が高い。像高が40センチ弱と小さく、右手を胸前で伏せるという特殊な印相をとる点は、いずれも『陀羅尼集経』という奈良時代に重視された密教部の経典に基づいたと考えられる。まさに古密教の本尊画像として相応しい姿といえるだろう。



(当館研究員 谷口耕生)

※特別展「古密教-日本密教の胎動-」は7/26～9/4に開催

参加者募集中です!

親子の文化財教室「室町時代の歴史と美術」

学校では教えてくれないことを、楽しく学びませんか。

- [第3回] 7月 9日(土)「吉野をめぐる人々」 野尻 忠
- [第4回] 8月 6日(土)「南都絵所 一奈良の絵画工房」 谷口耕生
- [第5回] 9月10日(土)「唐物趣味」 清水 健
- [第6回] 10月 8日(土)「大乗院跡・元興寺」
(現地見学、当館講堂集合) 吉澤 悟・岩戸晶子
- [第7回] 11月12日(土)「水墨画と大和絵」 中島 博
- [第8回] 12月10日(土)「金閣と銀閣」(現地見学、集合場所未定) 内藤 栄

(会場) 当館講堂および展示室、または見学地。

(時間) 午前10時～12時。

* 教室終了後、当日当館で開催中の特別展・平常展などを自由に観覧できます。

(対象) 小学校5・6年生と中学生、および保護者

(児童・生徒のみでも参加出来ますが、大人のみ参加はできません)。

(費用) 参加は無料です。ただし現地見学の時は、観覧料など実費を負担して頂きます。

(申し込み方法) 郵便またはファックスで、下記の事項を明記して、当館の教育室へお申し込み下さい。

* 参加希望の回(何回でも結構です)

* 氏名・学校名・学年・参加保護者氏名・郵便番号・住所・電話番号・ファックス番号

開館予定(7月～9月)

■開館時間 9時30分～17時(ただし毎週金曜日および8月13・14・15日(土・日・月)は19時まで) ※いずれも入館は閉館の30分前まで

■休館日 月曜日(ただし7月18日(祝)、8月15日、9月19日(祝)、9月26日は開館し、7月19日(火)は休館)

■観覧料金

特別展 古密教-日本密教の胎動-

	大人	大学・高校生	中学・小学生
当日	1,000円	700円	400円
前売・団体	900円	600円	300円

* 特別展観覧料で平常展もご覧いただけます。

* 団体は責任者が引率する20名以上。

平常展・特別陳列・親子のギャラリー

	大人	大学・高校生	中学生以下
一般	420円	130円	無料
団体	210円	70円	

* 団体は責任者が引率する20名以上。

* 敬老の日(9月19日)は無料でご覧いただけます。



(交通案内) 近鉄奈良駅から徒歩15分、またはJR奈良駅・近鉄奈良駅からバスで「氷室神社・国立博物館」下車すぐ

「奈良国立博物館だより」は、1・4・7・10月に発行します。郵送をご希望の方は、何月号かを明記し、返信用封筒(90円切手貼付、宛名明記)を同封して、当館の情報サービス室にお申し込みください。